

こんにちは！

地域おこし協力隊 です

※地域おこし協力隊とは、人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図ることを目的として設立された制度です。

臼杵市では、移住定住支援や中心市街地の活性化、有機農業の推進など、様々な分野で協力隊の皆さんが活躍しています！

地域おこし協力隊に新たな仲間が加わりましたのでご紹介いたします！

有機農業隊員として、ほんまもん農産物の栽培、PR、販路拡大等を担当する村松 恒成(むらまつ こうせい)さんと福田 あい(ふくた あい)さんの2名が採用されました。

市民の皆さんと一緒に臼杵を盛り上げるために元気に活動していますので、見かけた際にはぜひ気軽に声をかけてください！

村松 恒成さん(有機農業担当)

令和4年8月より地域おこし協力隊(有機農業隊員)として着任しました、村松恒成と申します。

東京都出身の22歳です。着任前は大学に通って映像制作を学んでいました。コロナ禍で海外留学に行けなくなり、今後について考えている中で農業に興味を持ちました。

臼杵市の地域おこし協力隊に応募したきっかけは大分県の移住オンライン相談にて紹介して頂きました。また臼杵市には両親の知り合いがいて、元々知っている土地という事もあり応募しました。

農業経験は無く、ゼロからのスタートですが、市役所、協力隊、農家の皆さんや近所の方にご支援を頂きながら活動しています。

今は機械の操作やほんまもん農産物の出荷作業など基本的な部分を学んでいます。

安心で美味しい野菜を作りながら、大学で学んだ映像制作や趣味の写真撮影を活かして、SNS等でほんまもん農産物を多くの方に知って頂けるような活動をして行きたいと考えています。

3年間頑張りますのでよろしくお祈りします！



福田 あいさん(有機農業)

皆さま、はじめまして。

令和4年10月より、地域おこし協力隊(有機農業隊員)として着任した福田(ふくた)あいと申します。愛知県出身で、臼杵に移住する前までは、大阪でコピーライターとして約9年間働き、さらにその前は愛知の生協で宅配業務をしていました。

母方の実家が農家、父方の実家が八百屋だったこともあり、幼い頃から農業を身近なものとして感じていて、「いつか農業をやりたい」という思いがずっと頭の片隅にありました。

なかなか行動に移せなかったのですが、コロナ禍のお出かけしづらい時期に空いた時間を使って有機農業学校に1年間通い、もっと農業に本腰を入れたいと思うように。そんなタイミングで取材の仕事で大分出張の機会があり、臼杵市が有機農業に力を入れていることを知りました。

これは何かのご縁に違いない！ そう思って、地域おこし協力隊に応募することに決めました。

活動が始まり約2週間経ちましたが、農作業の後は全身筋肉痛…歯ブラシを握るのもやっとの日や疲れすぎて眠れない日もありました。野菜を使ったレシピを考え自炊したり(料理はけっして得意ではありませんがマイペースで作るのは好きです)、慣れない車の運転であたふたしたり、すべてが試行錯誤の日々ですが、農作物のこと、土のこと、生きものごと、知れば知るほど世界が広がり面白いです。また土をさわりの匂いをかぐと、亡くなった農家の祖母とつながっている、そんな感覚になることもあります。

また、手仕事や文化にも興味があるので、臼杵焼や竹細工、臼杵の歴史、食文化などもこれから勉強したいと思っています。

いろんな面でまだまだひよっこの私ですが、自然や農家の先輩方、そして地域の皆さまに多くのことを学ばせていただきながら、精一杯頑張ります。そして早く作ったおいしい農作物で皆さんに元気をお届けできるようにになりたいです。

もし道端や畑で見かけたら、お声をかけていただけたらうれしいです！ どうぞよろしくお願いいたします。

※頭にかぶっている菅笠は、前いた会社の先輩からいただいたものです。菅笠が似合うカッコいい農家をめざします。

